# 平成30年度事業計画 社会福祉法人ともいき会

## ◇法人理念 「ともにいきる」

理念を実現していけるよう、地域の中で「はたらく」ことを通して、その人なりの生活を営み、ともにいきる社会を目指していくために、幼児期から成人期まで、ライフステージを通して切れ目のない支援を提供していきます。

#### ◇基本姿勢

・人を大切にします ひとりの「人」として向き合うこと。 相手の良さを知り、自分の良さを知ること。 相手から学び続けること。

## ・誠実に向き合います。

人に対して誠実に向き合うこと。話を聴き一緒に考えること。 仕事に対して誠実に向き合うこと。報告連絡相談を徹底し、常に考え、実行、見直していくこと。 行動言動が常に法人の職員として見られていることを意識すること。 法令等を遵守すること。

「はたらく」姿を支えます。

先が見通せることで保護者に安心感を与えること。 できることに着目し、体験を通して、社会性を身に付けること。 はたらくことができることを実証し続けること。

#### ◇事業方針

#### •組 織

平成29年4月社会福祉法等の一部を改正する法律が施行されたことにより、定款の変更、経営組織である 役員等の体制も変更になり、新たなスタートが切られました。

法人組織としては、理事会、評議員会がそれぞれ牽制する機能を発揮できるように会を開催し、その報告について細やかに行います。また法人の諸規定については、再度見直しをかけ、必要に応じて役員会に諮り、法人理念の実現という目標からぶれることなく、さらに働きやすい環境を実現していきます。

職員組織としては、職員全員が法人理念、基本姿勢、事業目標に目を向け、常日頃から考える機会が増えていけるよう、研修の場を設けていきます。

#### •経 営

平成30年度障害福祉サービス等報酬改定が実施されます。全体としては+0.47%の改定となっていますが、基本報酬単価はマイナスで、加算部分でプラスを取っていくようなメリハリをつけた内容となっています。当法人においては、ややマイナスの報酬単価設定となる見込みです。基本的には自立支援給付を収入の軸とした経営については変わりなく、経営基盤の安定を第一に予算編成を行いました。収入面に関しては、運営会議のメンバーである各管理者が、報酬単価、稼働率予測を立てるなど根拠を元に収入予測をたて、その目標を達成するためにの具体的な取り組みを実施していきます。支出面に関しては、人件費についてベースアップを含め、職員にも還元できる予算立てをし、備品購入等の支出に関しては引き続き、徹底したコスト削減を行います。

いずれにしても当法人のサービスを利用していただいている方々へのサービスの質の向上及び職員一人ひとりが新たな利用者にきていただくという気持ちを持ち続けること、が経営の安定化につながる要因として考えていきます。

#### •事業

平成30年度障害福祉サービス等報酬改定に伴い、新規事業として「就労定着支援事業」を開設をします。 現在まで必須として就労移行支援で取り組んできた内容が、制度として創出されたものであります。今までの 取り組みに自信を持ち事業展開を図っていきます。昨年度開設したウィズキャリアサポートセンター(放課後等 デイサービス事業)の安定した事業運営に向けて、法人一体となって取り組みます。実施一年を経過し、地域 への認知度も高まっています。引き続き常に稼働率を意識し、構築してきた内容を広く周知し、地域とのニー ズを合致させていきます。

利用者の増加に伴い、今年度より単独事業定員20名の定員変更を行います。活動場所の移転について、具体的に進めていきます。長期的には、第2生活介護事業所の立ち上げなど、地域のニーズを一つずつ明確にしながら、役員会にて諮っていきます。

## 1. 法人本部所在地

 $\mp 388 - 8007$  TEL 026 - 299 - 3787

長野市篠/井布施高田1034-3 FAX 026-299-3839

## 2. 法人内会議

|     | 会議名  | 回数  | 主な協議内容等  |
|-----|------|-----|--|
| (1) | 理事会  | 3   | <ul> <li>・5月後半 平成29年度事業報告及び収支決算</li> <li>・11月 上半期事業報告及び収支報告</li> <li>・3月 平成31年度事業計画及び収支予算</li> </ul> |
| (2) | 評議員会 | 1   | ・6月中旬 平成29年度事業報告及び収支決算   |
| (3) | 運営会議 | 月1回 | ・法人経営、運営計画 ・年間計画作成<br>・個別面談の実施<br>・各事業所運営状況確認 ・運営改善計画の確認   |
| (4) | 部会議  | 月1回 | <ul><li>・人材育成部会</li><li>・権利擁護部会</li><li>・リスクマネージメント部会</li><li>・安全衛生部会</li></ul>                      |

## 3. 諸会議への参加

長野市ふくしネット(就労部会、かつどう部会、子ども部会、相談支援連絡会) 須高自立支援協議会(しごと部会)

## 4. 職員研修

## (1) 外部研修

| 月 | 人数 | 内 容              | 月 | 人数 | 内 容         |
|---|----|------------------|---|----|-------------|
|   | 1  | 就業支援ワーカースキルアップ研修 |   | 2  | 就労支援担当者研修   |
|   | 1  | 相談支援従事者初任者研修     |   |    |             |
|   | 2  | 相談支援従事者現任研修      |   |    |             |
|   | 1  | 第1号職場適応援助者養成研修   |   |    |             |
|   | 2  | サービス管理責任者養成研修    |   |    | その他、長の認める研修 |

## (2) 内部研修

| 月  | 内 容   | 月   | 内 容          |
|----|-------|-----|--------------|
| 4月 | 初任者研修 | 11月 | 職員研修③        |
| 5月 | 職員面談  | 1月  | 職員研修④        |
| 7月 | 職員研修① |     |              |
| 9月 | 職員研修② |     | 小林茂夫氏による職員研修 |

※外部研修については、必要最小限の研修への参加とし、研修報告を義務付けるようにします。 外部研修に参加した法人内への伝達研修を行い、職員全体の専門性の確報に努めていきます。

| 平成 | 30 年 | 度 社会福祉法人と     | もいき会             | 児童発達支援事業   | 事業計画      |
|----|------|---------------|------------------|--|-----------|
| 1  | 事業目的 | 学び、実践できるような支援 | をおこなっていきます。そ     | 団生活における体験を通じ、将来の社会<br>そのために、一人ひとりの得意なこと、でく」大人を目指して、人を大切に支援をし | きる力、可能性を伸 |
| 2  | 事業内容 | 障害児通所支援       | ○児童発達支援          |  |           |
| 3  | 事業概要 | 児童発達 定員10人 開設 | 時間平日9:00~18:00 寸 | サービス提供時間9:00~15:00   |           |
|    |      |               |                  |  |           |

児童発達 サービス管理責任者1人、保育士2人、指導員1人

# 5 事業計画

4

職員体制

|      |                             | I will be a first                  |   |               |
|------|-----------------------------|------------------------------------|---|---------------|
| 優先順位 |                             | 事業目標                               | 目標を達成するための具体的計画   | 実施予定月         |
|      |                             |                                    | ○遊びや課題、食事、排泄等、細かな動作を観察<br>し、本人と向き合う事ができるよう支援していきます。                         |               |
| 1    | 一人ひとりの得意なこと。できる力、           |                                    | ・個々の支援目標に応じた取り組みを行います。<br>・室内活動(マット・サーキット・バスケットゴール等)を<br>通して四肢の発達・柔軟性を高めます。 | 通年            |
|      |                             |                                    | ○個別支援計画を作成し、計画に基づいた支援を<br>行っていきます。(アセスメント、モニタリング、記録)                        | 6ヶ月ごと<br>(随時) |
|      |                             |                                    | ○季節に合わせた活動を計画し、社会性やルール<br>などを学べる活動をしていきます。                                  |               |
| 1    | 将来「はたらく」を目標に、活動内容を充実していきます。 | •買い物学習、公共交通機関の利用、企業見学等の<br>社会体験活動等 | 通年  |               |
|      |                             |                                    | ○他部署と行事活動での交流を図ります。   | 随時            |
|      |                             |                                    | <ul><li>○必要に応じて保護者面談・保護者参観を行います。</li></ul>                                  | 随時            |
|      |                             | ・送迎時等の場面でも、保護者・学校と情報交換・共有を行います。    | 通年  |               |
|      |                             | ○関係者·支援会議に参加し、意識共有を図ります。           | 随時  |               |
| 1    | 保護者、関係ます。                   | 係機関との連携を強化し                        | ○自立支援協議会(子ども部会)へ参加します。  | 通年            |
|      | 5 / 0                       |                                    | ○就学前の児童、保護者を対象とした就学説明会を<br>実施します。   | 6月            |
|      |                             |                                    | ○保護者会の実施をします。   | 12月           |
|      |                             |                                    | <ul><li>○放課後等デイサービスについての説明会を実施します。</li></ul>                                | 2月            |

|   |                               | ○センター内、部署内でのミーティングを実施し、個  | 月2回  |
|---|-------------------------------|---|------|
|   | 職員の支援技術の向上を目指します。             | 別ニーズや意識の共有、また支援や活動の振り返りを行い、支援技術の向上を図ります。                                | 児童毎週 |
| 2 |                               | ○ヒヤリハット等報告書の随時記載と報告・検討を行い再発防止に努めます。                                     | 随時   |
|   |                               | ○外部研修に参加し、意識、支援技術の向上を図り<br>ます。  | 随時   |
|   | 新規利用者に来ていただけるような<br>活動を展開します。 | ○関係機関にパンフレットの配布・補充を行います。<br>(保育所・幼稚園・保健センター・医療機関・行政・相談支援事業所・療育コーディネーター) | 随時   |
| 2 |                               | ○関係機関との情報共有と情報発信を行い新規利<br>用に繋がるように努めます。                                 | 随時   |
|   |                               | <ul><li>○ホームページに活動を掲載し、活動内容の報告を<br/>行います。</li></ul>                     | 随時   |

平成 30 年度 社会福祉法人ともいき会ウィズ発達支援センター 放課後等デイサービス 事業計画

|   | 1 13/2 |      |                        |  |
|---|--------|------|------------------------|--|
|   | 1      | 中米口品 | で選択、実現できる力を            | 目指して、社会体験や、自立した生活を送れるための機会を提供し、自分伸ばせるような活動を実施していきます。また、集団での生活や遊びの中切にしながら、自分の思いを整理して伝えたり、相手を思いやることができとしていきます。 |
| Ī |        |      | 障害児通所支援                | ○放課後等デイサービス  |
|   | 2      | 事業内容 |                        |  |
|   |        |      | 地域生活支援事業               | ○移動支援、タイムケア、自立サポート   |
|   | 3      | 事業概要 | 放課後等デイサービス 開記<br>定員10人 | 役時間平日8:30~18:00 サービス提供時間15:00~18:00(放課後時間に合わせて)<br>休日8:30~18:00 サービス提供時間9:00~15:00(休みに合わせて)                  |
|   |        |      | 移動支援・・タイムケア・自立         |  |
| - | 4      |      | 放課後等 児童発達す             |  |

|      | ,                                   | -   |  |       |
|------|-------------------------------------|---|--|-------|
| 優先順位 | 事業目                                 | 標   | 目標を達成するための具体的計画                                  | 実施予定月 |
| 1    |                                     | ○遊びや個別の活動、集団生活の中で、できる力、<br>折り合う力を伸ばせるよう、一人ひとりに寄り添った支援を行います。                             | 通年   |       |
|      |                                     | ○一人ひとりの想いと共に、学校で使用されている<br>個別の教育支援計画や障害児支援利用計画と連動<br>した個別支援計画の作成を行い、計画に基づいた<br>支援を行います。 | 通年   |       |
|      |                                     |   | ○本人の様子や成長等の記録を行い、記録を基に<br>定期的にモニタリングを行います。       | 通年    |
|      | 将来の「はたらく」大人を目指して、<br>活動内容を充実していきます。 | ○季節に合わせた活動や地域交流活動に参加し、<br>社会性やルールなどを学べる活動をしていきます。                                       | 通年   |       |
|      |                                     | ・小集団で公共交通機関を利用したり、普段体験できないような企画活動を行います(クラブサンズ)。   | 月一回<br>程度  |       |
| 1    |                                     | ・大人の方を対象に、外食等余暇を中心とした活動を行います(クラブスター)。   | 通年   |       |
|      |                                     | ○将来を考える機会となるように、法人内の他セン<br>ターと連携し、就労に向けた体験を行います。  | 随時   |       |
|      |                                     |   | ○他部署と行事活動での交流を図ります。                              | 随時    |
|      |                                     |   | <ul><li>○必要に応じて保護者との連絡調整、面談を行います。</li></ul>      | 随時    |
|      |                                     | ・保護者・学校と送迎時等、日頃接する場面でも様子や情報交換、情報共有を行います。  | 通年   |       |
| 1    | 保護者、関係機関とはます。                       | の連携を強化し   | ○関係者・支援会議に参加し、情報共有、支援に対する方向性の統一を図ります。            | 随時    |
|      | 610                                 |   | 〇自立支援協議会(千曲市・長野市子ども部会)へ参加します。                    | 通年    |
|      |                                     |   | ○児童発達利用の年長保護者を対象とした、放課<br>後デイサービスについての説明会を実施します。 | 2月    |

|   |                  | ○センター内、部署内でのミーティングを実施し、個別ニーズや意識の共有、また支援や活動の振り返り     | センター<br>月2回 |
|---|------------------|---|-------------|
|   |                  | を行い、支援技術の向上を図ります。                                   | 放課後月2回      |
| 2 |                  | ○ヒヤリハット等報告書の随時記載と報告・検討・検<br>証を行い、再発防止に努めます。         | 随時          |
|   |                  | <ul><li>○外部研修に参加し、意識、支援技術の向上を図ります。</li></ul>        | 随時          |
|   | 新規利用者に来ていただけるような | ○相談支援専門員等、関係機関との情報共有や情報提供を行い、新規利用に繋がるように努めます。       | 随時          |
| 2 |                  | <ul><li>○ホームページに活動を掲載し、活動内容の報告を<br/>行います。</li></ul> | 随時          |
|   |                  | ・サービスの質の向上を目指し、自己評価表の掲載を行います。                       | 下半期         |

# 平成 30 年度 社会福祉法人ともいき会 ウィズキャリアサポートセンター 事業計画

| 1 | 事業目的 | 「大人になったらはたらこう」の理念のもと、将来自信をもって社会人になることを目指します。そのために、学齢期の自信をもとに自己理解を深め、一人ひとりの自己実現に向けて主体的に自己決定ができるよう、キャリア発達支援をしていきます |  |  |
|---|------|--|--|--|
| 2 | 事業内容 | 障害児通所支援  | ○放課後等デイサービス  |  |
| 3 | 事業概要 |  | 間10:00~19:00 サービス提供時間13:00~19:00<br>間 9:00~18:00 サービス提供時間10:00~16:00 |  |
| 4 | 職員体制 | サービス管理責任者1人  | 、指導員2人   |  |

| 優先順位                                       | 事業目標                                      | 目標を達成するための具体的計画   | 実施予定月     |  |
|--|---|---|-----------|--|
| を利用者の想いを聞かせていただき、個々のニーズに合わせて目標をもてるように支援します |   | ○ご本人やご家族との面談で想いを聞かせていた<br>だきます。また学校やその他関係機関とも情報共有<br>をしてアセスメントを行います | 通年        |  |
|  | き、個々のニーズに合わせて目標を                          | ○アセスメントで得た情報から、ご本人の自己実現<br>に向けた個別支援計画を作成し、職員・関係機関で<br>共有できるようにします   | 年1回<br>随時 |  |
|  | ○定期的にモニタリングを行い、ご本人の成長、課<br>題を振り返ります       | 6カ月ごと<br>随時   |           |  |
|  |   | ○自己肯定感を高めることができるよう支援をします  | 通年        |  |
|  | 学校生活等の現在の日常生活を自<br>信をもって生活できるよう支援をしま<br>す | ○学校生活で必要なコミュニケーションスキルを高<br>めていきます                                   | 通年        |  |
| 1  |   | ○個に応じた日常での悩みの解決や気持ちの安定<br>のため個別療育で支援をします                            | 通年        |  |
| 1  |   | ○子どもとの関わり等において保護者が安心できるよう、面談や情報提供、保護者向けの講座の実施および関係機関との連携を図ります       | 随時        |  |
|  |   | ○他部署や外部機関と連携し、プログラムの充実を<br>図ります                                     | 随時        |  |
|  |   | ○社会人に必要なコミュニケーションやビジネスマ<br>ナーの講座を開きます                               | 通年        |  |
|  | 41 A 1 ) = 6 7 A 1 A 24 PH 18 - 2 7 1 2   | ○進路選択や卒業後の生活能力の向上に向けてイメージを広げられるよう講座の充実を図ります                         | 通年        |  |
| 1  | 社会人になるための準備ができるよう<br>に支援をします              | ○個に応じた講座や振り返りを行うため個別療育を<br>実施します                                    | 通年        |  |
|  |   | ○自己理解を深めるために振り返りを行います   | 随時        |  |
|  |   | ○他部署や外部機関と連携し、プログラムの充実を<br>図ります                                     | 随時        |  |

|   | T                      | T   | ı          |
|---|------------------------|---|------------|
|   | 新規利用者の確保に向けた取り組        | ○関係機関、学校等を定期的に訪問し、周知活動<br>を行います   | 通年         |
|   |                        | ○本人、保護者向けの説明会を実施します   | 随時         |
| 1 | みを行います<br>受付目標数:40名    | ○学校や相談員と密に情報交換を行い、新規利用<br>に繋がるようにします  | 随時         |
|   | 登録目標数:45名              | ○長期休みの集中講座や単発の講座など、新規利用者が体験も兼ねて参加できる取り組みをし、選ばれる事業所を目指します                      | 長期休み<br>随時 |
|   |                        | ○必要に応じて保護者との面談を行います   | 随時         |
|   | 保護者・関係機関との連携を強化し<br>ます | ○支援会議等に参加して情報の共有を図り、支援<br>の方向性を統一し役割分担をしていきます                                 | 随時         |
| 1 |                        | ○保護者向けの講座や参観の機会を作り活動内容<br>を理解していただくことで、利用について保護者にも<br>安心をしていただけるよう状況共有をしていきます | 随時         |
|   |                        | ○自立支援協議会へ参加し、他事業所との情報共<br>有を図ります  | 通年         |
|   |                        | 〇ミーティング(ケース検討含む)を行い、プログラム<br>や支援内容の検討、情報共有を図ります                               | 毎日         |
| 1 | 職員の支援技術向上に努めます         | ○他事業所への見学を行い、支援方法、環境整備<br>等を学び、自分たちの支援に活かしていきます                               | 随時         |
|   |                        | <ul><li>○外部の研修に参加して部署内で報告を行い、支援技術・意識の向上に努めます</li></ul>                        | 随時         |

| 平成    | 30 | 年度                              | 社会福祉法人ともいき | 会 ウィズ生活支援センター | 事業計画        |
|-------|----|---------------------------------|------------|---------------|-------------|
| — 11X | UU | <del>++</del> / <del>-</del> /- |            |               | <del></del> |

| 平原  | 戊 30 年 | 度 社会福祉法人と    | もいき会               | ウィズ生活支援センター  | 事業計画         |
|-----|--------|--------------|--------------------|--|--------------|
| 1   | 事業目的   | 来るよう支援をしていきま | す。「はたらく<br>舌動・音楽活動 | を実現していけるよう、日々の生活の「」それぞれの出来る力に合わせ作業に<br>」・余暇活動・体力作り等、様々な活動<br>行います。 | 取り組む時間を設けて   |
| 2   | 事業内容   | 障害福祉サービス     | 生活介護事              | 業  |              |
| 3   | 事業概要   | 生活介護 定員20名   | 開設時間平              | <sup>2</sup> 日 9:00~18:00 サービス提供時間                                 | 間 9:00~16:00 |
| 4   | 職員体制   | サービス管理責任者 1  | 名、支援員              | 8名、准看護師 1名(非常勤)、運転   | 手 2名         |
| 5   | 事業計画   |              |                    |  |              |
| 優先順 | 百位     | 事業目標         |                    | 目標を達成するための具体的計画  | g<br>実施予定月   |

| 優先順位 |                                 | 事業目標                       | 目標を達成するための具体的計画           | 実施予定月 |  |  |  |
|------|---------------------------------|----------------------------|---------------------------|-------|--|--|--|
|      |                                 |                            | ○本人・家族と面談を通し、個別支援計画を作成し   | 6ヵ月毎  |  |  |  |
|      |                                 |                            | アセスメントやモニタリングを行います。       |       |  |  |  |
| 1    |                                 | り用者・家族の想いを聞か<br>支援をしていきます。 | ○ケア会議等に参加し利用者の状況把握に努めま    | 随時    |  |  |  |
|      | で (頂さい                          | 又1友をしているより。                | す。また必要に応じて、相談支援専門員と本人・    |       |  |  |  |
|      |                                 |                            | 家族の想いを共有していきます。           |       |  |  |  |
|      |                                 |                            | ○はたらくプログラムを実施します。         | 通年    |  |  |  |
|      |                                 |                            | ・企業からの仕事をセンター内で取り組みます。    |       |  |  |  |
|      |                                 |                            | また、それぞれの利用者に合った作業内容を検討し   |       |  |  |  |
|      |                                 |                            | 出来る可能性を広げていきます。           |       |  |  |  |
|      |                                 |                            | ○くらすプログラムを実施します。          | 通年    |  |  |  |
|      |                                 |                            | ・更衣、準備、片付け、調理、運動、外出等を通し   |       |  |  |  |
|      |                                 |                            | 身の回りの自分で出来る事を増やし生活レベルの    |       |  |  |  |
|      |                                 |                            | 向上を目指していきます。              |       |  |  |  |
|      |                                 |                            | ・地域との関わりを持てる活動を考えて行きます。   |       |  |  |  |
| 1    | 活動内容の充実を図ります。  ○あそぶプログラムを実施します。 |                            | 通年                        |       |  |  |  |
|      |                                 |                            | ・外出、創作、鑑賞、音楽、外部講師によるアート活動 |       |  |  |  |
|      |                                 |                            | を通し、楽しみを見つけていけるようにしていきます。 |       |  |  |  |
|      |                                 |                            | ○法人内の他センターと連携をしていきます。     | 通年    |  |  |  |
|      |                                 |                            | ・プログラムを一緒に取り組むようにしていきます。  |       |  |  |  |
|      |                                 |                            | ○健康管理及び助言、保健便りの発行を行います。   | 通年    |  |  |  |
|      |                                 |                            | ・バイタルサインの測定(体温・排泄・食事量)を通し |       |  |  |  |
|      |                                 |                            | 体調の変化に気づくようにしていきます。       |       |  |  |  |
|      |                                 |                            | ・流行病等の発生時期にお便りを発行し健康・病気   |       |  |  |  |
|      |                                 |                            | について意識をしてもらえるようにしていきます。   |       |  |  |  |
|      |                                 |                            | ○「ウェルカムキャンペーン」をします。       | 随時    |  |  |  |
|      |                                 |                            | ・見学や体験、実習を積極的に受け入れる中で     |       |  |  |  |
|      | - 李田利田寺                         | 音に来て頂けるような活動               | センターの取り組みを知ってもらえるようにします。  |       |  |  |  |
| 2    | を展開しま                           |                            | ・発達支援センター利用者に「はたらくプログラム」の |       |  |  |  |
|      |                                 | , ,                        | 体験をしてもらえるような場を作ります。       |       |  |  |  |
|      |                                 |                            | ○長野市障害福祉ネットに参加し、他事業所と情報   | 月1回   |  |  |  |
|      |                                 |                            | 共有をします。                   |       |  |  |  |
|      |                                 |                            | ○センター内でヒヤリハット・苦情の共有・対策検討、 | 週2回   |  |  |  |
|      |                                 |                            | 個別のニーズや意識の共有を行う事で支援の見直    |       |  |  |  |
| 2    | 職員の支援                           | 受技術向上を目指します。               | しを行うようにします。               |       |  |  |  |
|      |                                 |                            | ○外部の研修に参加し、センター内で報告会を行い   | 随時    |  |  |  |
|      |                                 |                            | ます。                       | ļ     |  |  |  |

| 平成 | 30 | 年度 | 社会福祉法人ともいき会 | ウィズ就労支援センター | 事業計画 |
|----|----|----|-------------|-------------|------|
|----|----|----|-------------|-------------|------|

|   | 1 | 事業目的 | 障がい者が、「働く」ことを通して、地域で暮らし社会に参加してくことができるように、ひとりひとりの願いに応じた就労支援を行っていきます。就職支援・就職後のフォローアップまで、『自立したい』『はたらきたい』気持ちを、社会での役割を実感する中で、サポートしていきます。   |
|---|---|------|---|
| Ī |   |      | 障害福祉サービス ○就労移行支援 ○自立訓練(生活訓練) ○就労定着支援  |
|   | 2 | 事業内容 | 助成金・補助金 ○職場適応援助者(ジョブコーチ支援・訪問型)  |
|   | 3 | 事業概要 | 定員:就労移行14名、自立訓練6名、就労定着支援定めなし開設日:月曜日~金曜日(平日)及び土曜日(1/月)開設時間:8:30~17:30<br>サービス提供時間:9:00~16:00<br>施設外就労(老人福祉施設での清掃活動)を中心に、計画的にビジネスマナー等の学習会を実施し、一般企業内においての『はたらく』をイメージできるよう年間を通して積極的に一般就労の機会を提供します。また、企業の方が障害福祉について理解を深められるよう地域・企業に向けても発信していくとともに、就職後も継続的な職場定着を支援を提供します。 |
|   | 4 | 職員体制 | ○管理者1名 ○サービス管理責任者1名 ○就労支援員2名 ○生活支援員(就労移行)<br>1名 (自立訓練)1名 ○職業支援員1名 ○就労定着支援員(定着支援)1名  |
|   | 5 | 事業計画 |   |

| 優先順位 | 事業目標                    | 目標を達成するための具体的計画   | 実施予定月     |
|------|-------------------------|---|-----------|
|      |                         | ○一人ひとりのニーズに合った個別支援計画の作<br>成をします   | 随時        |
|      |                         | ○計画的に個別支援計画の振り返りを行います   |           |
| 1    | 一般就労を目指します (目標就職者10名以上) | ・丁寧なアセスメントとモニタリングを実施します<br>・振り返りの際に、一人ひとりの想いを聞き、相談をしながら利用者自身が就職までの道筋を考え、目標の設定ができるように支援します       | 隔週        |
|      | (A MARIN LET LOCAL)     | ○見学・体験実習を年間計画に沿って実施します  | 通年        |
|      |                         | ○ハローワークや関係機関との連携を密に図ります   | 随時        |
|      |                         | ○実習から就職後まで、継続した支援を行います  | 随時        |
|      |                         | ○施設外就労を実施します  |           |
|      |                         | ・老人福祉施設での清掃作業を提供します<br>・実際に企業の中での作業を行うことで、コミュニ<br>ケーションスキル、挨拶や報告連絡相談等のビジネ<br>スマナーの習得ができるよう支援します | 週4日       |
|      |                         | ○新規実習先の開拓をします   |           |
|      | 一人ひとりのニーズに合わせた働く        | ・一人ひとりのニーズに沿った業種を体験できるように、企業への訪問を行い、実習の受け入れ先の充実を図ります  | 随時        |
| 1    | 場を場所を提供します              | ○事業所内でも訓練ができる場所を提供します   |           |
|      |                         | ・自立訓練では、安心して働くための準備ができるように、事業所内での作業の充実、相談の時間を提供します  | 毎日        |
|      |                         | ○社内学習会の実施及び内容の充実を図ります   |           |
|      |                         | ・月に1度、土曜日に実施します<br>・必要に応じて、適宜個別対応での実施をします<br>・年間計画を作成し、関係機関への講師依頼等連<br>携を図ります                   | 1/月<br>適宜 |

|   | 就職後も安心して働き続けることができるよう、丁寧なフォローアップをします<br>(目標定着率80%以上) | ○定期的に企業への訪問や面談等を行います<br>・就職者の就業状況及び生活状況を把握し、課題<br>や不安を解消できるよう支援します  | 1/月<br>適宜 |
|---|--|---|-----------|
| 1 |  | ○企業、家族、各関係機関と情報を共有し、連携を<br>図ります   | 随時        |
|   |  | ○余暇の充実や仲間作りを目的とした在職者交流<br>会を実施します   | 2/年       |
|   |  | ○外部の研修に適宜参加をします   |           |
|   | 職員の就労支援技術の向上を目指します                                   | ・外部の研修で学んだことを、スタッフミーティングの<br>場で伝達をし、全員で共有します  | 随時        |
|   |  | ○社内でのミーティングの充実を図ります   |           |
| 1 |  | ・毎週水曜日にスタッフミーティングを実施します<br>・効率的なミーティングが行えるよう、検討事項の事<br>前周知及び目的の明確化を意識します<br>・統一した支援の提供ができるよう、スタッフミーティ<br>ングにて、ケース検討及び情報共有を図ります<br>・ミーティングにて、全スタッフが司会と記録を順次担<br>当し、外部での会議の場に向けた経験を積みます | 毎週        |
|   |  | ○長野市及び長野県自立支援協議会へ参加します  | 随時        |
|   | 新規利用者の確保に向けた活動を                                      | ○関係機関への周知活動を展開します   |           |
|   |  | ・定期的に訪問を行い、進捗状況の確認、パンフ<br>レットの配布を行い、紹介先の充実を図ります   | 随時        |
| 1 | 展開します (目標年間平均稼働率80%以上)                               | ○各学校や相談員からの紹介による実習・体験を積極的に受け入れます  | 随時        |
|   |  | ○他事業所から依頼のあった利用者の就労アセスメントを積極的に実施します   | 随時        |

| 1 | 事業目的 | ○相手から話を聴き、必要に応じて基幹相談支援センターや関係機関と連携していくことで、本人の目的達成、課題解決にむけてサービス等利用計画、障害児支援利用計画を作成し、取り組むことを目的とします。また相談を通して見えてくる地域の課題を抽出し、解決に向けて取り組んでいきます。 |                       |  |
|---|------|---|-----------------------|--|
| 2 | 事業内容 | 相談支援事業  | ○指定特定相談支援事業、障害児相談支援事業 |  |
| 3 | 事業概要 | 開設時間平日9:00~1  | 8:00                  |  |
| 4 | 職員体制 | 相談支援専門員2人(専従1人、兼務1人)  |                       |  |
|   |      |   |                       |  |

| 優先順位 |                 | 目標を達成するための具体的計画   | 実施予定月 |
|------|-----------------|---|-------|
| 1    | 基本相談支援を行います。    | ○基本相談はウィズの各センターを利用する方を中心に継続した支援を行います。<br>同法人内においても、相談支援機関として客観的な視点をもてるようにします。 | 随時    |
|      | 左平仲吹又抜で1∫V'より。  | ○まずは法人内のサービス利用者の基本相談を実施し、地域の実状に応じで法人外の基本相談も行います。                              | 加州    |
|      |                 | <ul><li>○サービス受給者証の記載内容に応じて基本相談</li><li>→サービス利用計画作成→モニタリングを行います。</li></ul>     |       |
| 1    | 質の高い事業者を目指します。  | ○きめ細やかなモニタリングについて計画通りに実施します。  | 随時    |
|      |                 | ○計画的に、相談支援専門員初任者研修の受講を<br>実施し、中期的には法人内での相談支援専門員の<br>増員を検討します。                 |       |
| 1    | 関係機関との連携を強化します。 | ○基本相談、サービス利用を行っていく上で、必要<br>に応じて家庭、行政、教育、福祉、その他機関との<br>連携します。                  | 随時    |

#### 平成 30 年度 社会福祉法人ともいき会 長野圏域障害者就業・生活支援センター 事業計画

| 事業目的 | 地域での生活や日中の活動ができるように、ひとりひとりの願いに応じて生活面や就職活動から職場実習、就職後のフォローアップまで就労の場の確保と安定した職業生活が実現できるよう支援します。また、関係機関や諸団体等の連携を図りながら各種社会資源を最大限に活用し、地域に根ざした就業・生活支援に関する総合的な役割を果たすとともに、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし・働き続けられるよう一役を担っていきます。 |
|------|---|
| 事業内容 | 雇用安定事業・生活支援事業<br>長野県短期トレーニング事業・長野県OJT推進員派遣事業  |
| 事業概要 | 開所時間:9:00~17:30、月~金   |
| 職員体制 | 所長兼主任就業支援ワーカー 1名就業支援ワーカー 4名(定着支援担当 1名)主任職場定着支援担当者1名生活支援ワーカー1名計7名  |
|      | 事業内容事業概要  |

| 5    | 事業計画  |             |   |       |  |
|------|-------|-------------|---|-------|--|
| 優先順位 |       | 事業目標        | 目標を達成するための具体的計画   | 実施予定月 |  |
|      |       |             | ○アセスメントを実施します。  |       |  |
|      | 就職や生活 | 舌面での不安や悩みを  | ○ケア会議の招集・実施します。   |       |  |
| 1    |       | に考えます。      | ○職場実習時や福祉との連携時には、本人と現状を整理した上で目標確認を行い、見通しを持って取り組めるよう支援します。   | 通年    |  |
|      |       |             | <ul><li>○ハローワークや各関係機関・家族との連携を密にはかります。</li></ul>   |       |  |
|      |       |             | ○働くことを軸に生活面における相談・支援を行います。  |       |  |
|      | 職場開拓を | ≿実施します。     | ○長野市を中心とした圏域内において、体験実習やアセスメント・就職を目的とした職場開拓にあたり、ハローワーク、求人開拓員等との連携を図ります。<br>○企業と相談をしながら、業務内容の切り出しや見直し等をします。 |       |  |
| 1    | 職場実習を | -行います。      | <ul><li>○実習から就職まで継続した支援を行います。</li><li>○安心して就労・雇用を継続するために職業相談、職場実習の実施、職場訪問を行います。</li></ul>                 | 通年    |  |
|      |       |             | <ul><li>○短期トレーニング制度について各関係機関に周知をします。</li><li>○職場実習からの就職率の向上を目指します。</li></ul>                              |       |  |
|      |       |             | ○雇用管理や定着支援に関する企業やご本人の悩みを早期<br>発見し、解決に向けた支援や調整を図ります。   |       |  |
|      |       |             | ○職場定着支援担当者による、精神障がい者・発達障がい者<br>等の職場定着支援を強化します。  |       |  |
|      |       |             | ○月毎にワーカー1人当たりの定着訪問目標値を定め、定着<br>支援に対する意識向上を図ります。   |       |  |
| 1    | 職場定着才 | 友援の充実を図ります。 | ○家族、地域の就労支援員、ジョブコーチ、各関係機関と連携<br>を図ります。  | 通年    |  |
|      |       |             | ○必要に応じて、離職に伴う支援、その後の再就職に向けた<br>支援を行います。   |       |  |
|      |       |             | <ul><li>○在職者交流会についてはニーズに応じた日程や内容をもとに計画し、実施します。</li></ul>  |       |  |
|      |       |             | ○主任職場定着支援ワーカーが配属されているため、困難事例の早期対応を図っていきます。また、雇用継続に悩みを抱える企業に対して定着支援の周知をします。                                |       |  |

| 1 | 圏域内のネットワークの構築を目指<br>します。    | ○各自治体やハローワーク、学校、福祉事業所や相談支援事業所等との連絡、連携を図ります。<br>○各関係機関や福祉事業所等の機能を理解することや、センターの役割を周知することを目的とし、関係機関を訪問します。 | 随時 |
|---|-----------------------------|---|----|
|   |                             | <ul><li>○地域自立支援協議会や長野圏域内のネットワーク事業に参加します。</li></ul>  | 随時 |
| 1 | 就職希望者や在職者への講座や<br>交流会を行います。 | ○必要に応じて登録者を対象に就労面や生活面での困ったことや悩みを少人数で共有し、意見交換ができる講座を開催します。   | 随時 |
|   |                             | ○希望に応じて福祉事業所での出前講座を行います。  |    |
|   | 職員の就労・生活支援技術の向上             | ○ケース検討を実施し、日々の支援に役立てていきます。多視点を持って支援ができるよう情報共有を行います。   | 随時 |
|   | を目指します。                     | ○外部の研修に出席し、職員の資質向上を図ります。  |    |